

a ミッション	<校訓> 「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く	aビジョン <学校教育目標> 「未来を拓き、たくましく生きる子ども育成」 【めざす 学校像】 地域や保護者に信頼される学校・・・「来てよかった」「来させてよかった」 【めざす子ども像】 夢や志を持ち、自ら挑戦する子ども・・・「挨拶・歌声・体力」 【めざす教職員像】 自らを磨く教職員・・・「関わり合い・高まり合う」 【めざす 授業像】 自ら学ぶ授業 カリキュラムマネジメント・・・「できる」「もっとやりたい」
---------	--------------------------------	---

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標 (2年目/3年計画)	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上 【資質・能力】 表現力 主体性・協働性 表現力を身につけ、主体的に他者と協働して課題解決を図る児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶことができる児童を育てる。</li> <li>協働的な活動ができる児童を育てる。</li> <li>目的に応じて適切に表現する力を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学的な見方・考え方」を働かせる授業づくりを行う。</li> <li>①前時までの「しこみ」と教材の「しかかけ」の手立てを行い、イメージする活動を行い、児童の問題意識を引き出す。</li> <li>②目的を明確にし、必然性のあるペアワークやグループワークを設定する。</li> <li>③振り返りの視点として、「本時での『数学的な見方・考え方』のよさ」や「友達からの学び」「学び方のよさ」等を設定し、「振り返り」の充実を図る。</li> <li>本時で身に付けた「数学的な見方・考え方」の意味付けを図るために、共有した「数学的な見方・考え方」を働かせる適用題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習についてのアンケート」において、「主体性」「協働性」に係る質問項目への肯定的評価の割合</li> <li>児童 80% 教職員 90%</li> <li>80%</li> <li>80%</li> </ul>	80%										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の気持ちを考えた行動ができる児童を育てる。</li> <li>自らの良さに気づき、新たな目標に向かう児童を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつを通して、関わり合うことを増やす。(朝のあいさつ運動・小中連携あいさつ運動・あいさつパワーアップ週間)</li> <li>縦割り班活動の充実を図り、他者とのかわりを増やす。(そうじ・遠足・せらひがしっ子タイムでの全員遊び)</li> <li>道徳ふりかえりタイムでどのようなことが生かされたかを具体的に書かせるとともに、自分の成長がわかるような記録の仕方を工夫する。</li> <li>よいところみつけを実施し、双方に肯定的声掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GO5せらひがしっ子の児童アンケートで、「自分から、元氣よくあいさつする。」に肯定的評価をしている児童の割合</li> <li>85%</li> <li>85%</li> </ul>	85%										
確かな体の育成 【資質・能力】 表現力 主体性・協働性 自己理解 課題意識を持って、健康な体を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題意識を持ち、柔軟性・投力を鍛える体力づくりを行う。</li> <li>基本的な生活習慣を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ボール投げ」</li> <li>朝の体力づくり時に、中央グラウンドで60m走のあと、投的ロケットを行う。</li> <li>体育の授業で、準備運動と兼ねて、投力を向上させる運動やボール投げを行う。</li> <li>学期に1回ソフトボール投げの計測を行い自己の課題を意識させ、自己の投力を高めさせる。</li> <li>◎「長座体前屈」</li> <li>毎日の家庭学習や体育の授業で、継続してせらひがしっ子体幹・柔軟トレーニングを行う。</li> <li>外部講師と連携した指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「投力」の数値が県平均を超える児童の割合</li> <li>60%</li> <li>75%</li> <li>80%</li> </ul>	60%										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の生活見つけ直し週間を実施し、課題を把握し、全体及び個別の指導を行う。外部講師と連携した指導も行う。</li> <li>参観日(全体会)保健朝会や委員会活動を通して基本的な生活習慣やバランスのとれた朝ごはんを摂取することの大切さを伝える。</li> <li>幼保小連携を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の生活見つけ直し週間を実施し、朝ごはんの項目の点数が8以上の児童の割合</li> <li>80%</li> </ul>	80%											
特色ある学校 【資質・能力】 表現力 主体性・協働性 地域・保護者と共に児童を育成する学校風土を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の良さを実感してもらえ地域の人・保護者を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の取組や児童の成長・成果、実態(健康・体力、食生活)等を積極的に発信する。(学校・学年だより、ホームページ等)</li> <li>特別支援教育に係る取組や状況を定期的に発信し、理解を深める。</li> <li>ふるさと学習を計画的に実施し、成果を発信する。(輝くせらの学校文化発表会、学習発表会等)</li> <li>学級懇談会の内容の工夫と共に、保護者が懇談に残ることができるように「子ども預かり」の体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会、講演会への保護者の参加率</li> <li>60%</li> <li>80%</li> </ul>	60%										

【自己評価 評価】

A: 100≦(目標達成)

C: 60≦(もう少し) &lt; 80

B: 80≦(ほぼ達成) &lt; 100

D: (できていない) &lt; 60

【学校関係者評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。